

令和5年度
大田区地域協議会について
(報告)

令和5年8月22日(火)
大田区福祉部福祉管理課
法人指導担当

令和5年度大田区地域協議会

- 令和5年5月29日(火) 開催
事務局:大田区社会福祉協議会
委 員:大田区地域福祉活動計画推進委員

【議題】

- 1 はじめに
地域協議会について
- 2 大田区社会福祉法人協議会の取り組みについて
- 3 協議事項
「地域の福祉課題に関すること等について」

1 地域協議会について

- ① 社会福祉充実計画において地域公益事業を行うに当たっては、地域の福祉ニーズを的確に反映させるために関係者の意見を聴取する。
- ② 社会福祉充実計画において地域公益事業を実施しない場合においても、「地域における公益的な取組」を推進するため、以下について協議する。

【協議事項】

- ・地域の福祉課題に関すること
- ・地域で求められる福祉サービスに関すること
- ・関係機関との情報共有及び連携に関すること
- ・「地域における公益的な取組」の取組内容・推進方策に関すること など

2 大田区社会福祉法人協議会の取り組みについて

大田区社会福祉法人協議会 通称おおた福祉ネット

【加入法人数】

41法人(令和5年5月現在)

【主な活動内容】

4つの基本圏域(大森、調布、蒲田、糀谷・羽田)ごとに、エリア会議を開催する。令和4年度に3年ぶりに実施した。それぞれのエリアの状況に応じて、情報交換会や重層的支援体制整備事業の勉強会、今後の取り組みなどについて、各エリア2～3回のエリア会議を行い、意見交換を行った。

【期待される効果】

法人や事業所同士がつながることで、「地域がより見えるようになり」「1事業所ではできないこともできるようになり」「それぞれが持ち合わせている強みを発揮できる」(福祉広報第772号・2023年5月発行「都内法人の区市町村ネットワークによる地域における公益的な取組のいま」より抜粋)



3 協議事項

地域の福祉課題に関すること等について(1)

【意見等】

☆コロナ禍が落ち着いて顕在化した新たな生活課題にどう取り組んでいくかが、社協の課題である。

☆社会福祉法人のもつ専門性を地域に活かすことは地域貢献につながる。困難な時代だからこそ、地域の中で、自治会や町会、民生委員などとともに様々な課題解決に取り組んで、誰もが生きやすい地域にしていきたい。

3 協議事項

地域の福祉課題に関すること等について(2)

☆第7次大田区地域福祉活動計画(リボン計画)に、障がいをお持ちの子どもに対する施策・目標等の明記があるとありがたい。

☆地域福祉コーディネーターの活動を通じた知見を活かして、担い手不足等の地域特性などの具体的な課題を共有しながら、オール大田で取り組んでいくのが、大田区版地域共生社会の実現につながると思う。



お知らせ

- 地域協議会の議事録については、大田区社会福祉協議会のホームページに掲載されています。
- 各社会福祉法人の「地域における公益的な取組」の実施状況は、WAM NETで公開されている現況報告書で確認できます。
- 「地域における公益的な取組」については、法人のホームページ等において、積極的に情報発信することが重要です。



END

ご清聴ありがとうございました。

【担当】

大田区福祉部福祉管理課法人指導担当
〒144-8621 大田区蒲田五丁目13番14号
大田区役所本庁舎8階
TEL 03-5744-1215 FAX 03-5744-1520
e-mail hojin-shido@city.ota.tokyo.jp